

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【2】 施工の見直し 施策11 】

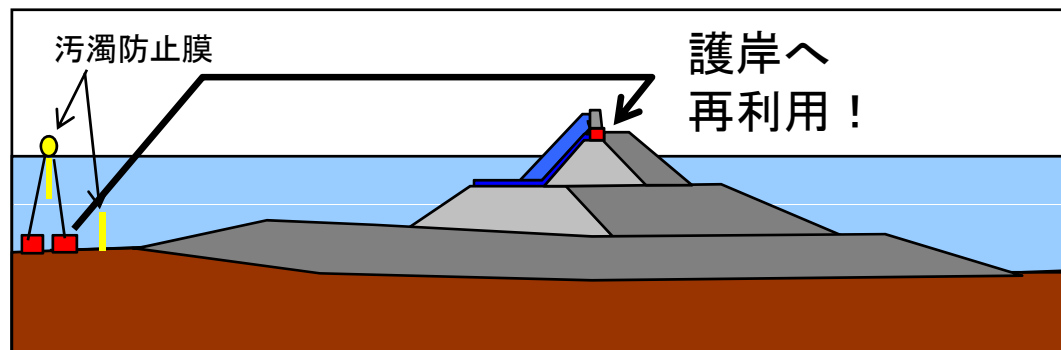
## 汚濁防止膜固定用のコンクリートブロック等を護岸構造物としてリサイクル

工事名：2期空港島護岸築造工事（その13）（平成20年度分）

概要：汚濁防止膜※固定用コンクリートブロックを、上部ブロックの一部に転用  
既設の仮仕切堤の捨石を新設の仕切堤に転用

効果：

- ① 新規に製作するコンクリートブロック数が軽減され、材料費・運搬費を節約。
- ② コンクリートブロックをリサイクルすることで、資源を有効活用。  
建設工事費を913百万円から902百万円に改善。  
(改善額：11百万円 改善率：1.2%)



※汚濁防止膜は、土砂の濁りの拡散を軽減するため、工事海域のほぼ全周に設置されていた。  
護岸概成とともに、必要な部分を除いて撤去し、転用した。